

ライフもワークも貴重な時間

WLB(ワーク・ライフ・バランス)に取り組み12年。ライフもワークも私には貴重な時間だ。充実した時を過ごすため常に次のことを心がけている。

- ・その11仕事に優先順位をつけて成果物は迅速に。時間は有限。
 - ・その21周囲とのコミュニケーションは日頃からの積み重ね。世間話から仕事まで話し合える環境作り。
 - ・その31人は人、自分は自分。自分にできる方法、正しいと思うやり方で取り組む。
- 放送局の仕事は不規則で、24時間休みなく

凛としていきる

理系女性の挑戦

視聴者に届く感動ひとしお

放送を伝える設備の整備プロジェクトに携わっている、深夜でなければできない仕事も多い。限りある時間をどう使うか常に考えなければならない。職場である。多くの女性が子育てと仕事の両立に直面する時がくる。子育てが大変な時期は仕事

にやりがいのある時期でもある。仕事の楽しさを感じられる貴重なこの時を逃す手はないと考えている。

チームに迷惑はかけられない。自分の力で成果を上げたい。

成功の力は、何に對しても前向きに取り組む姿勢や周囲(家族、上司・同僚など)との連携、協力に対する感謝の気持ちだと思

う。現在は周囲に恵まれて、充実した日々を感じているが、過去に整備の作業前に入念な確認を行う

は、周囲の理解や協力なく全てを完璧に行おうとして直ちにバランスを崩し、結果的に家庭も仕事も中途半端に終わってしまった経験もある。

放送設備の整備プロジェクトでは、編成や報道など多くの部局が関係して検討が進められる。部局間をまたがる調整作業も多く、技術部門の代表として説明に奔走することも度々だが、相手との信頼関係を築くことを第一に、丁寧に進めることを心掛けている。

また担当するマスタ

1設備はテレビ・ラジオ番組送出の心臓部。ニュースやスタジオなど局内外の情報が集まる場所であり、手に脳に汗をかいて開発を重ねた結果が実際に視聴者に届いたときの感動はひとしおである。

苦勞して進めてきたプロジェクトだから最後まで携わり成功させたい。周囲と共に自分のやり方で取り組める環境を構築すれば成功への道は開かれ、ワークもライフも充実することを実感した。

持ちに余裕が生まれワークもライフも楽しく過ごせるように。

企画協力・日本女性技術者フォーラム(JWEF)

(火曜日に掲載)

NHK 技術局・番組施設部

諸岡 志保



〈プロフィール〉02年NHK入局。マスタ(主調整室)の現場で専門技術を磨き、技術局では設備導入・開発業務に従事。15年度JWEF奨励賞受賞。JWEF法人会員。